

事業概要

自動車調達物流における地域物流改善プロジェクト

協議会名:北九州市地域物流MaaS協議会

協議会構成員

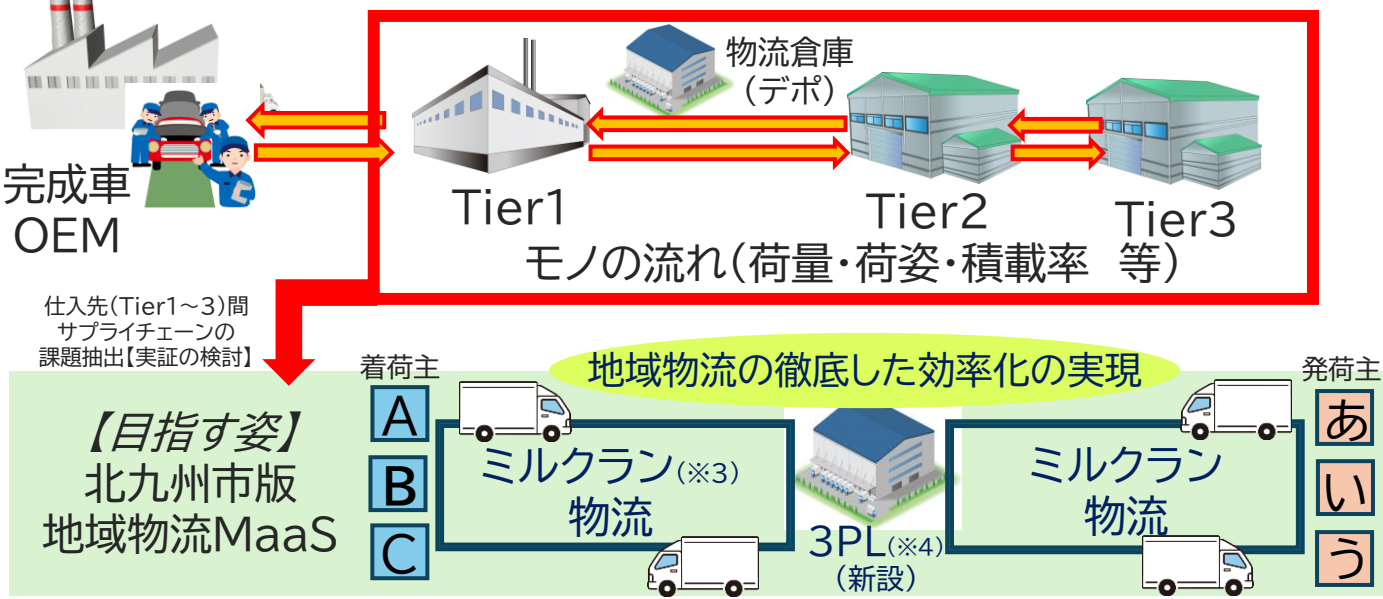
北九州市、北九州産業学術推進機構、 パーツネット
北九州、株式会社ロジコム、株式会社NX総合研究所
【オブザーバー】
トヨタ自動車九州株式会社、 日産自動車九州株式会社
、福岡県

【事業実施背景】

- ・北部九州は、国内有数の自動車産業集積地である。自動車産業は、完成車OEM(※1)から部品製造等を行う関連企業まで裾野が広いことが特徴であり、「2024年問題」をはじめとする物流の諸問題についても大きな影響を受けると考えられる。
- ・物流二法の改正により、荷主(発/着)・物流事業者に対し、規制的措置が厳格化されるなど、輸送の効率化に向けた改善は待ったなしの状況である。改善にあたっては、物流事業者と荷主(発/着)が一体となり、サプライチェーン全体で取り組む必要があるため、まずは地域における調達物流の実態調査を行う。

事業内容

Point 北部九州における自動車物流のサプライチェーンの効率的な輸配送スキームを検討するため、Tier1企業以下(※2)の地域物流実態調査を行い、モノ(生産部品等)の流れを把握する。 今回の調査範囲



想定事業実施効果

【地域物流の見える化】

地域物流の改善につなげるため、地域内における輸送データを収集し、課題(非効率要素)抽出を行う。また、調査を通じて、荷主(着/発)や物流事業者の意識改革を図る。

輸送の効率化に向けた実証事業の検討

将来像

【地域物流改善によって得られる効果】

- ・共同輸配送による積載率の向上
→トラックドライバー不足への対応
→CO2削減(カーボンニュートラルの実現)

※1 完成車メーカー
※2 サプライチェーンにおける階層を示す。Tier1はOEMに、Tier2以降は直近上位のサプライヤーに対し、直接部品等を供給するサプライヤー。
※3 各工場を巡回し、原材料や部品等を集荷する方法
※4 3rd Party Logisticsの略。荷主等から委託され、物流の企画・設計・運営を行い、在庫管理や輸送等、包括的な物流業務を行う。本取り組み(目指す姿)では、共同輸配送の集約施設機能を想定。